

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



奉仕と親睦
夢と希望を持って活動しよう

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー

2011~2012

富津中央RC会長 小野 恒靖

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2227 第19回例会 2011. 11. 24 晴

点 鐘：小野恒靖 会長

進 行：千葉一利 SAA

ソング：手に手つないで

場所 ロイヤルヒルズ 木更津ビューホテル

テーマ 「4つのテスト」について

クラブ発表 若鍋情報委員長にお願い(20分)

5. 分区ゴルフについて

3月15日以降に予定したいとのこと。

会長挨拶

小野恒靖 会長

以上



第四分区会長幹事会について

11月21日袖ヶ浦で行われ、

1. 先の情報研究会での感想文の提出の要請があり、刈込一弥会員に引き受けていただきました。
2. 成松ガバナー補佐より、地区大会協力御礼の言葉がありました。
3. 国際大会の予約人数について、各クラブに聞き取りがあり、当クラブで会員10名、家族6名と答えたところ、一同驚きの体でした。
4. 議事

IMについて

日時 平成24年2月3日(金) 4~8 時 PM

幹事報告

須藤 隆 幹事

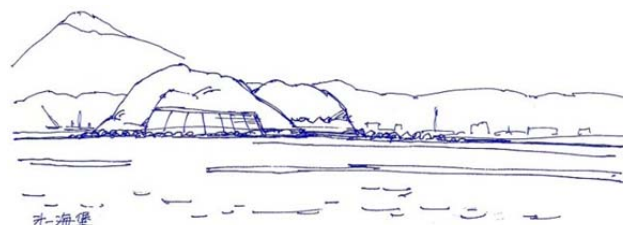


皆さんこんにちは。国際大会の参加申込の登録を11月21日にシカゴの RI にメールで申請しました。RI からメールを受理したとの返事がありました。一人160ドル、10人分の登録料を立て替えてありますので、もし不都合が生じてキャンセルする場合は早めに申し出てください。4月6日まではキャンセル料15%の負担で返金されます。

昨日 RI より世界大会に関する最新情報を入手しました。そのよりますと

①水の被害は回復に向かっており、RI の国際大会

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



の行事に変更予定はない。

- ②タイ政府の後押しにより、160ドルの安い登録料が設定でき、食べ物、宿泊、交通等リーズナブルな料金で利用できる。
- ③ノーベル賞受賞者を含む講演者による感動的な話が聞ける。等々

報告事項

1. 富津中央RCロータリー細則見直し案作成。
来週の指名委員会にて説明
2. 指名委員会(総会)の開催
12月1日(木)の例会を夜間例会(点鐘午後6時)とし、例会終了後指名委員会(総会)を開催。
3. 塩山RC創立40周年記念行事への招待に対し、塩山RCに招待受諾を報告
詳細スケジュールは別途塩山RCより送付
4. 10月度会報受領 回覧
木更津RC、木更津東RC、上総RC、袖ヶ浦RC
5. 上総RCより例会変更のお知らせ
日時:12月22日(木)点鐘18時
場所:正源寺 クリスマス家族夜間例会
12月29日 休会

委員会報告

クラブ会報・広報委員会

志波 克 委員

クラブ URL、変更のお知らせ

新 URL は会報表紙ページ左最下段に記載されています。

又、今回の変更で、メールアドレスが無料で作成できるようになりました。会員の利便のため、全員のアドレスを作ってはいかがでしょうか。理事会での検討をお願いします。

その他、ブログ、掲示板等も出来ますので、今までのホームページの活用共々、倶楽部ライフ充実の為、皆様のお知恵をお借し下さい。

指名委員会開催のお知らせ

志波 克 委員長

開催日 12月1日 夜間例会(PM:6)終了後、当館

会員卓話

我が家雑談

大須賀三智雄 会員



卓話ということですが、皆さんの様には上手く話すことは出来ませんが、今年我が家で起きたことを少し話したいと思いますので、しばらくの間ご辛抱いただきたいと思います。

今年、いちばん大きな出来事は、自宅を新築したことです。1月から各ハウスメーカー、主に積水ハイム、住友林業、檜や、創建ホーム、アキュラホームなどの話を聴き、各メーカーそれぞれ良いところがあり迷いましたが、最終的に積水ハイムに決定しました。

積水ハイムに決めた理由としては、軽量鉄骨で家が丈夫で地震につよいことや“ウォームファクトリー”(別名あったかハイム)というシステムで床下に設置した蓄熱暖房機からのじんわりした熱がフロア全体に伝わるため、各部屋間の温度差がないのが特徴で、また電気式なので空気を汚すことがなく、安全快適で健康的な空間を保つことが出来るのが決め手となりました。

3月に契約し6月中旬から着工に入り、9月30日に引き渡しとなりました。実際に住み始めたのは10月中ごろで、丁度1カ月を過ぎたところです。以前は昔ながらの日本家屋で、夏は暑く冬は隙間風が入ってくる家で、冬は大変寒かったことが思い出されます。

今回新築した家は2階建ての58坪で息子夫婦と私達夫婦の二世帯住宅になりました。住み始めは慣れませんでした、1ヶ月たちましたのでようやく慣れてきました。

そして、この3日には次男夫婦に、続いて10日後の13日には長男夫婦にそれぞれ子供が生まれ

ました。今年には自宅の建て替えと、2人の孫の誕生で大変良い年になりました。

公共施設の再配置計画について

渡辺 務 会員



行財政改革の必要性は指摘されて久しい。

行政の無駄をどの様に減らすかについて市議会
は具体的な手段まで考えて提言を続けなければそ
の存在意義が問われる。

そんな中、本年7月、総務常任委員会で神奈川
県秦野市に視察に伺った。目的は公共施設の再
配置計画について先進的な取り組みをおこなっ
ているとの情報を得て申し込んだ。

富津市の市民税収

H20年 32億8千万

H22年 24億4千万(決算ベース)

大規模償却資産は23年度がピーク

しかもその他の市税は景気低迷や産業構造変化
により減収傾向にある

再配置計画の必要性

今後40年を想定して公共施設(特に建物)

に掛かる更新・補修・修繕の費用を算出。

同時に今後の財政収支の予測を立ててどの程度
の資金が必要となるかを試算する。

(高度経済性地時代に建設された公共施設がここ
数年~10数年の間に老朽化や耐用年数を迎え、
改修工事や更新立替の時期に突入する)

同時にインフラ(道路・橋・上下水道)も老朽化の問
題が浮上してきている。

そこで先の9月議会代表質問で計画の必要性を
提案した。

財産台帳の整備も昨年以来の私の質問の中で進
捗を確認してきた問題で、やっと今年度完成のメ

が立ったところだ。

引き続き再配置による無駄の排除と効率的な行
政運営について提言をつづけてゆくつもりだが、一
番の問題は職員に行動をおこさせるインセンティブ
なり、指導力が発揮されていないこと。実際に業務
を行なう行政マンにいかに行動してもらうかが知恵
の絞りどころ。「あれやれ」「これやれ」の命令権限
は議員には無い。提言を行なうだけでなく如何に実
施段階まで方向付けできるかが政治手腕だと感じ
ている。

ニコニコBOX

刈込一弥 親睦担当委員

千葉一利 「孫息子、スポーツジム<ジャクパ>
県大会でマット・優勝、鉄棒・2位、
跳び箱5位でした」

大須賀三智雄 卓話をさせていただいて
「孫が生まれました」

渡辺 務 卓話をさせていただいて
写真を頂いて

出席報告

刈込一弥 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	20/19	15	4		78.95%
前回	20/15	10	5		66.67%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会は夜間)
火	富津(特別 18:30 10~3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 19:00)
木	上総、木更津

今日の
食 事
(鋼)



ロータリーの友 2011年12月号

RI 会長 カルヤン・バネルジー メッセージ

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん、

8月の下旬、妻のビノタと私はガーナにいました。ロータリー財団管理委員会副委員長のサム・オクゼトや熱心な地元のロータリアンたちに、首都アクラから60マイル(約100km)ほどのところにあるアプティアテティという小さな村で行われた「水プロジェクト」のテープカットに誘われたからです。

家族が集まって地域社会を形成

私たちは午前11時ごろ現地に着きましたが、村人全員がその場にいるように思えました。私たちを歓迎するために朝早くから待っていてくれたのです。これまでこの村の女性たちは川の水をくむために、3マイル(約5km)あまり歩かなければなりませんでした。今では、村にできたポンプ付きの井戸から、安全で清潔な水を得ることができます。これは、ロータリーとUSAID(アメリカ国際開発局)が協同で実施した、簡単ではあるものの効果的なプロジェクトでした。

しかし、その日私たちに最も衝撃を与えたのは家族でした。男も女も子どもたちも、みんなが一緒になり踊ったり、歌ったりして私たちを歓迎してくれました。このことは、世界中どこでも、人々は家族となり、その家族が集まって地域社会を形成しているのだということ私に教えてくれました。

家族から始まる

そして、この出来事は、家族がすべての事柄の始まりであるという理由で、今年度の強調事項の最初に家族をもってきた私を幸せにしてくれました。家族は生活の始まるどころ、一日が始まるどころ、そして私たちロータリーの奉仕活動を始めなければならないところだからです。なぜならば、地域社会を、そしてロータリーを形成している単位は、家族であって、個人ではないからです。

ロータリーの奉仕に家族を取り込むよう奨励することは私の重要な優先事項の一つで

す。私は、ロータリーは決してロータリアンと家族の間に垣根をつくるべきではないと、非常に強く感じています。ロータリーの奉仕は、家族が、より親しい関係になるようなものであるべきです。私自身のことを申し上げますと、もしロータリーのイベントに妻のビノタを連れていけないようなら、その答えは明白です。私は行きません！

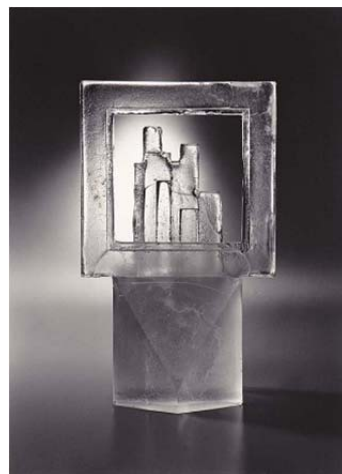
ロータリーは「私たちのため」

ロータリーは「私のため」ではなく、「私たちのため」のものです。私が、各地区が地区大会に家族を迎え、配偶者や子どもたちを奉仕プロジェクトに参加させ、家族も共に出席することを念頭に置いた例会を企画することを奨励しているのは、このためです。今日、そして明日、家族たちをロータリーに巻き込めば巻き込むほど、ロータリーはもっともっと繁栄するでしょう。

ロータリーとは何でしょう？ それはいろいろあります。しかしながら、その中核となるものとして、ロータリーは次のような言葉で表せます。「あなたの隣人をあなた自身と同じように愛しなさい」。ロータリーは愛です。そしてその愛は「私たち」——そして私たちの身近な人々とともに始めるべきなのです。

KALYAN BANERJEE

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL



ガラスアート「ランドスケープ」

H150*W30*D16 cm 佐藤信泰